

校種・学年・教科等名：小学校・第5学年・学級活動
実践名：「生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る」

小学校 第5学年 学級活動 学習指導案

日 時：平成23年11月30日
場 所：楠浦小学校 パソコン室
授業者：教諭 上中 恭

1 題材名

情報セキュリティ 「他人になりすまして…」

2 題材について

(1) 本主題は、小学校学習指導要領「特別活動」の〔学級活動〕「(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全」の「イ 基本的な生活習慣の形成」を受けて設定した題材である。

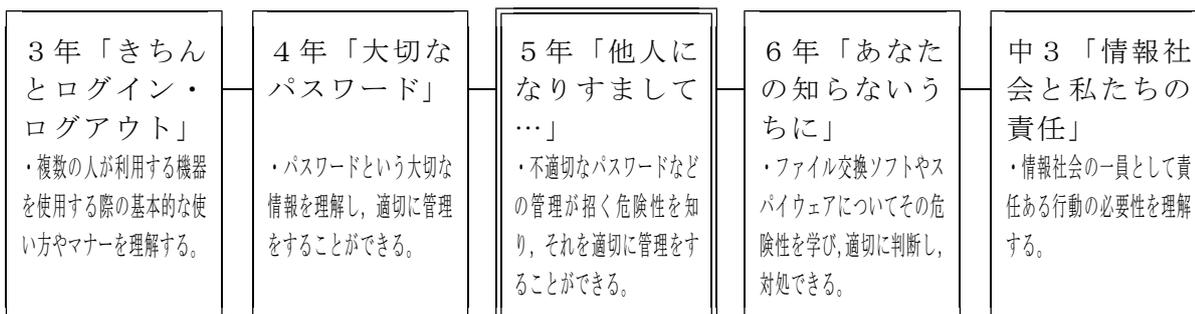
社会の急速な情報化の進展により、携帯電話やインターネットなどが広く個人にも普及している。平成22年度の熊本県公立学校いじめアンケート調査結果では、小学生において携帯電話の所持率が16.2%、パソコンでは29.5%とあり、近年増加傾向にあることが示されている。

今日の情報化の光の部分として、小学校でも各教科・総合的な学習の時間などで調べ学習を行い、インターネットを使用する機会も増えている。このことより、児童の情報を整理する力や活用する力などが高まってきている。また、自らを表現し情報を発信したり、メールや伝言板などによりコミュニケーションの相手が広がったりすることで、自己の世界観がグローバルになっているケースも多い。さらに、情報化の進展と情報機器の所有率の増加により、家庭などでもインターネットをする環境が整い、調べ学習時の活用だけでなく余暇や趣味などに活用しているケースも増えてきている。

その反面、影の部分として、他人のプライバシーの侵害、掲示板への不正な書き込み、ネットいじめや学校裏サイト、出会い系サイトなどが大きな社会問題となり、児童生徒が犯罪の加害者や被害者になってしまう危険性も増えてきている。また、家庭教育に関しても、携帯電話やインターネットの所有率や利用率の向上に反して、家庭・保護者の情報モラル教育についての危機感はまだまだ希薄な状況にある。さらに今後の中学生時期になると、携帯電話やパソコンの所有率は倍増するデータも示されている。

上記のことから、小学校の高学年の時期に、家庭教育も推進しながら情報セキュリティに関する基本的な知識と判断力を身に付けさせていくことは、大変意義あることと考えられる。

(2) 本題材の系統は以下のとおりである。（領域4「情報セキュリティ」）



天草市モデルカリキュラムを受けた本校の情報モラル指導カリキュラムでは、上記のような情報セキュリティに関する学習を計画している。第5学年の本題材は、第4学年の「大切なパスワード」の学習の上に立ち、不適切なパスワード管理が招く危険性を学習する。

(3) 児童の実態は以下のとおりである。(在籍数24人)

①携帯電話を持っている。	(2人) 8%
②携帯電話でメールをしたことがある。	(12人) 50%
③家庭でインターネットができる。	(12人) 50%
④インターネットでメールをしたことがある。	(1人) 4%
⑤家庭でインターネットを使う時のルールがある。	(6人) 25%
⑥パスワードとは何か知っている。	(8人) 33%
⑦不正使用・不正アクセスとは何か知っている。	(2人) 8%
⑧インターネットや携帯電話を使う時のルールにはどんなものがあるか。	
<p><セキュリティ面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らない人からの電話に出ない。(3人) ・両親の携帯を使わない。(1人) ・有料になっているものはしない。(1人) ・パスワードなど他人に教えない。(1人) ・外部に個人の電話番号などが漏れないようにする。(1人) <p><使用ルール></p> <ul style="list-style-type: none"> ・使ってよい時間がある。(2人) ・時間を守る。(1人) ・制限時間がある。(2人)「1時間以内, 1日30分以内」(1人) ・インターネットをする前に親に聞く。(3人) ・インターネットなど勝手に使わない。(1人) ・携帯を使う時は, 勝手にメールを送らない。(1人) ・特にルールはない。(3人) <p><メール・モラル面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪口などを書き込まない。(5人) ・いたづら電話をしない。(1人) ・インターネットでいろいろ探らない。(1人) <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーボードを大切に使う。(1人) ・手をふいてから使う(2人) 	

(4) 指導にあたっては次の点に留意する。

① 学級活動の視点から

ア 学級活動(2)の「基本的な生活習慣の形成」の視点から, 持ち物の整理整頓, あいさつや言葉遣いなどにかかわる問題と同様に, 「自分のものは自分で確実に管理する大切さや他人のものを勝手に使ったりしないこと」を日常モラルの事例と照らし合わせながら再認識することができるようにする。

② 情報モラル教育の視点から

ア 本時は, 情報モラル指導モデルカリキュラムにおける分類4「情報セキュリティ」g3-1「不正使用や不正アクセスされないように利用できる」の視点から授業を展開する。

イ 本時は, 情報モラルの情報セキュリティに関する内容について, 系統性を大切にしながらトピック的に教材化して授業を展開する。

ウ 児童の実態から, 情報機器等の使用経験や使用環境の違いから, 問題の想定に個人差が見られると考える。よって, 「パスワード」などの用語や使用についての特性を導入で取り上げる。

エ 情報化社会でも, 一般的な日常のモラルが大切であることを理解させる。

③ 人権教育の視点

ア 様々なデータを確実に読み取ること, 関連付けて考えることなどをおし, 科学的な見方や考え方を養う。(生きる力の育成)

イ 児童同士が交流をとおして共同解決する場を設定し, お互いを認めながら学習に取り組む態度を養う。(仲間づくり)

ウ 個人情報やネット上の犯罪などを学習することをおして, 人権に関する知的理解とともに豊かな人権感覚を養う。(人権感覚の育成)

3 題材の目標

題材の目標	<p>自分のものは自分で確実に管理する大切さや他人のものを勝手に使ったりしないことを日常モラルの事例と照らし合わせながら再認識することができる。</p> <p>※不適切なパスワードなどの管理が招く危険性を知り, それを適切に管理をすることを理解できる。(情報モラル)</p>
-------	---

4 本時の学習 (1 / 1 時間)

- (1) 目標
 ○自分のものは自分で確実に管理する大切さや他人のものを勝手に使ったりしないことを日常モラルの事例と照らし合わせながら再認識することができる。
- (2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問と児童の反応	教師の指導と評価	備考	
導入	20	<p>①パスワードについて発表する。</p> <p>②パスワードの働きについて知る。</p> <p>③パスワードの大切さについて考える。</p> <p>④パスワードの大切さを再確認し、めあてを考える。</p>	<p>○パスワードって何ですか。また、どんな時に使いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だけが知っている言葉。 ・他人に知られてはいけない暗号。 ・ゲームをする時。 ・カードの番号。 <p>○パスワードは何のためにあるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人が確認するため。 ・自分の情報を守るため。 ・物などを盗まれないため。 <p>○パスワードを他人に知られたらどんなことになるのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の情報を盗まれる。 ・本人になりすまして勝手なことをされる。 <p>○「自転車と鍵の番号」「家と鍵」の関係で説明してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、自転車だったら、勝手に乗り回される。 ・家だったら、勝手に入っている色々な物を盗まれる。 <p>○パスワードが漏れ事件に巻き込まれたビデオを見せます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・え～おそろしい。 ・他人になりすまして、そんなことをするのか。 	<p>インターネットなどを活用する場合だけでなく、児童の生活の中についても考えさせる。</p> <p>パソコンの画面などを見せ、実際に活用していることを押さえる。</p> <p>インターネット上で行われるであろうことを、児童に身近な事例に置き換えることで、パスワードの大切について実感を伴って理解させる。</p> <p>身に覚えのない請求が来た事例(不正アクセスなど)自分になりすまして掲示板に書き込まれた事例</p>	<p>カード① パスワード</p> <p>画像① パソコン画面</p> <p>カード② 自転車 家</p> <p>映像① 警察庁作成映像</p>	
		大切なパスワードを守るためにどんなことを工夫すればいいのか考えよう。				
展開	20	<p>⑤パスワードの作り方を考える。</p> <p>(1)悪い例</p> <p>(2)よい例</p> <p>⑥パスワードを守るために工夫することを考える。</p> <p>(1)セキュリティ面</p> <p>(2)態度面</p>	<p>○どんなパスワードを作ったらいいのかな。</p> <p>○忘れないように、自分の名前がいいよね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐばれると思います。 ・う～ん。分かりにくいのがいいと思います。 <p>○分かりにくく、覚えやすくするにはどのようにすればいいのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数字とか※、-などを入れればいいと思います。 ・みんなが知らないもの。 ・暗号のようなもの。 <p>○その他に、どんな工夫があるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでウイルスチェックなどを確実にする。 ・パスワードを時々変更する。 <p>○どんな人なら教えられるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達はどうかな。 ・親だけに教える。 ・親友ならいいと思う。 	<p>名前や生年月日などの例を挙げる。</p> <p>パスワードの伝言ゲームなどを行い、情報の漏れなどを体感させる。</p> <p>分かりにくいと自分自身が覚えられなく、メモを活用することになり、この後の学習へつなげていく。</p> <p>例：銀行のカード番号の作り方</p> <p>家で行っていることなども想起させ、自分でできないことは親に頼むことなども押さえる。</p> <p>メモを渡すことや親友から漏れた場合などを考えさせる。</p>	<p>カード③ 悪い例</p> <p>カード④ よい例</p> <p>画像② ウイルスチェック</p>	
終末	5	<p>⑦パスワードの扱い方についてまとめる。</p> <p>⑧日常生活と照らし合わせて考える。</p>	<p>○パスワードを守るために気を付けることをまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスワードが他人に知れたら大変なことになる。 ・作り方やチェックも大切だ。 <p>○ネット上では、顔も見えないし、人にばれなければいいのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活と同じように、自分のものを大切にしたり、他人のものを勝手に使ったりしないことが大切だと思います。 	<p>パスワードを守るためには、作り方、他人に教えないこと、セキュリティチェックなどの大切さを再度押さえる。</p>	<p>【評価】ネット上の問題について、普段の生活の中の日常モラルと照らし合わせて考えることができる。</p>	

5 モデルカリキュラムの位置付け

情報モラル	道徳, 各教科・特別活動 他
c3-1: 何がルール・マナーに反する行為かを知り, 絶対に行わない。	道徳 あいさつの大切さ「オーストラリアで学んだこと」 2-(1)礼儀「あいさつの言葉の意味や礼儀で通い合う心の大切さを知り, 時と場をわきまえて, 礼儀正しく真心をもって接しようとする態度を養う。」
a3-1: 他人や社会への影響を考えて行動する。	国語 新聞の編集の仕方や記事の書き方に目を向けよう 「新聞を読もう」 相手の立場を意識して言葉遣いを考え, 文章を読んだり書いたりする。
c3-2: 「ルールやきまりを守る」ということの社会的意味を知り, 尊重する。	道徳 公共の場を大切に 「駅前広場はだれのもの」 4-(1)公德心, 規則の尊重「公德心をもって法やきまりを守り, 自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たそうとする態度を養う。」
e3-1: 情報の正確さを判断する方法を知る。	理科 「天気と情報(2)台風と天気の変化」 天気の変化について興味・関心をもって追究する活動を通して, 気象情報を生活に活用する能力を育てるとともに, それらについての理解を図り, 天気の変化についての見方や考え方を身につけることができるようにする。
g3-1: 不正使用や不正アクセスされないように利用できる。	学活 情報セキュリティ 「他人になりすまして・・・」 (2)-1自分のものは自分で確実に管理する大切さや他人のものを勝手に使ったりしないことを日常モラルの事例と照らし合わせながら再認識することができる。
b3-1: 情報にも, 自他の権利があることを知り, 尊重する。	音楽 音楽で描こう「音のスケッチ」 言葉と旋律の結びつきを感じとりながら楽しく音楽作りをする。
i3-1: ネットワークは共用のものであるという意識をもって使う。	道徳 みんなのために 「夜行列車の中で」 4-(1)公德心, 規則の尊重「公德心をもって法やきまりを守り, 自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たそうとする態度を養う。」
a3-1: 他人や社会への影響を考えて行動する。	社会 暮らしを支える情報 「情報の中に生きる」 情報化した社会において, 情報を有効に活用するために大切なことを考えることができる。